

学校通信



喜多見



No.8 令和6年12月24日

喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

『責任ある自由』

校長 紺谷 祥一

自分も実践しようと、前任校の校長先生を見習って校長室のドアは原則開け放してあります。寒いこの時期は足元がスースーするのですが、朝から気合を入れて全開に。その効果かどうかは分かりませんが、校長室へのお客様は少なくありません。私の好きなテレビ番組「ドキュメント72時間」よろしく、訪問者の要件もまた多種多様。寂しい私には誰もが大切なゲストですが、特に生徒の来室は嬉しい限りです。『面接練習で上手く話せなかったから、再挑戦させてください！』(意識高い系の生徒)、『白いご飯が廃棄されないよう、自宅からのふりかけ持参をOKにしましょうよ…。』(食欲旺盛系)、『用はない。ただ校長が元気かなーと思って来た。』(上から目線でも優しい?系)等々、その第一声は豊かな個性そのままで。

そんな中、ある日の放課後に生徒会長の石田さん(2B)が訪問してきます。『先生が以前に朝礼でお話された、自由と責任、「責任ある自由」についてもう一度伺いたいと思ってきました。タブレットの文房具化に向けても、とても大切な視点だと思っています。』— 今、生徒会本部は「タブレットの“真の”文房具化」に向けて熱く取り組んでいるのです。本紙で以前にも話題としましたが、区では学びの質的転換を図る道具として、令和2年11月から全ての小中学校で1人1台のタブレット型情報端末が配備されています。導入当初は、「ワクワク期」→「やらかし期」→「定期」と、子どもたちの使い方についてこれら3つのフェーズで変化が起こると言われていました。既に中学校のワンサイクル以上の年月が経ち、焦点は使用頻度(量)から活用方法(質)に移るなど、まさに「定期」に入っています。これまで、本校では先生の許可のある時に限り、授業中にタブレットを使用することができました。鉛筆、ノート、消しゴム、ハサミ等々と同様に、タブレットを学習する際に当たり前に使う道具(=文房具)として捉えると、その使用にいちいち許可は必要ないはずです。しかし、授業中に関係のないサイトを勝手に閲覧したりしてしまうのを防止する目的で、この「許可制」がありました。生徒会本部は代々、これまで複数回全校生徒を対象に、授業中のこうしたルール違反の有無についてのアンケート調査を通じ、自治や意識の高まりを促してきました。一部の生徒は正直に違反を申し出るのですが、そのたびに“真の”文房具化は頓挫しかかります。『疑問に思ったことをすぐに検索して知りたい…』、『画像として記憶や記録に残したい…』、『そもそも基礎を確認したい…』、『もっと深く理解したい！』等々、生徒たちの授業中の心の内はさまざまです。まさしく個別最適化学習にはタブレットの活用が最適なのです。タブレットを正しく使うためには生徒自身の自律心、つまり「責任ある自由」の意識が欠かせません。以下は、16日(月)の生徒会朝礼での石田さんのスピーチ(抜粋)です。

現状の iPad 文房具化では、一部の生徒の使い方が原因で、クラス全員が文房具のように iPad を使用することができませんでした。しかし、三学期からは皆さんの自主性に任せた使用にし、新 iPad 文房具化をお試し期間として実施します。授業中は先生の許可を得てからの使用でしたが、その授業に関係のあるものならば自分で考えて使用が可能となります。これまで休み時間も ICT 委員や先生の許可が必要でしたが、「人権を侵害しない」「周りに迷惑をかけない」「学校生活に則した使い方」であれば自分で考えて使用可能となります。〈中略〉この企画を中央委員会に提案した際、約5時半までという、2時間にわたって話し合いが行われました。私が特に印象に残っているのは、学級委員が自分のクラスとよく向き合い、生徒会とは異なる視点で意見や質問をし、活躍してくれていたということです。また、ICT 委員会に提案した際も、ICT 委員が意欲的に話を聞き、質問や意見を出してくれたおかげで、話し合いを深めることができました。こんなにクラスや学校のことを一生懸命考えてくれる人がたくさんいるのならば、この企画は絶対に成功すると私はその時確信しました。iPad 文房具化は、先輩のさらに先輩の代から行われており、私たちが想像する以上に多くの人が携わり、支えてくれています。全校で一致団結し、iPad を文房具のように気軽に使えるようにしましょう！



本校では、特に生徒一人ひとりが自由を享受しつつ、その自由に伴う責任を理解して実行できる力を育てることを大切にしています。保護者の皆様にはご意見もあるかと存じますが、ぜひとも各ご家庭においても、この経過について話題としていただき、本活動を応援いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（高須宏明）



早いもので入学してから9ヶ月が過ぎようとしています。初々しい1年生、というよりも、部活動や委員会活動の場などで中堅的な役割を担う、そんな雰囲気を出しつつある生徒も徐々に見受けられるようになってきた1年生です。

国語科の立場から言えば、教科の提出物が仕上げられずに出せずじまいになってしまふようなことも1学期には目についたのですが、提出日を気にしてなんとかそれに間に合わせようと前向きに取り組む雰囲気が、徐々にアップしてきたように思います。私は授業の折りに触れて「3年生になって困らないように」とか「高校受験するつもりなら〇〇が必要だ」等と言ってきました（意地悪に思われたかもしれません……）。また今月は、学年ずっと「マジプロ」に取り組んできましたが、それもきっと3年生になって自分自身を助けるはずのものです。そのように先を見通して、今をあきらめずに頑張ること。これが、2024年の締めくくりのこの時期に見られてきたことを、喜ばしく思っています。

この調子で、良い2025年がスタートできるといいです。

2年生の様子から（富樫有里子）

12月に入り、鎌倉校外学習に向けた取り組みが本格的に始まりました。クラス・学年のために「我こそは！」と立候補してくれた各クラス2名の生徒と学級委員会の生徒で構成された実行委員会を中心に取り組んでいます。中でも『ルール検討』は実行委員会でもかなり時間をかけて行っていたように思います。実行委員会で出たルールをクラスでも検討し、よりよいものにしていくという姿勢がみられています。せっかく『みんなで決めたルール』ですから、学年のみんなでルールについてしっかりと意識しましょう。1人くらい…と思わず、全員で意識したその先に鎌倉校外学習の『成功』があるのだと思います。



さて、職場体験、合唱コンクールとたくさんの経験を積んだ2学期も残すところあとわずかです。「2年生でいられるのは2学期まで、3学期は3年生の〇学期」という話を学年でもよくしています。冬休みを有意義に使って、いいスタートをきれるようにしましょう！

3年生の様子から（斎藤優太）

10月に行った合唱コンクールが遠い昔に感じるくらい、高校受験の仕組みのことや自己分析、面接練習、自己PRカード作成など、進路学習に力をいれた2学期でした。初めてのことで不安もたくさんあった様子でしたが、試行錯誤しながら一人一人が真剣に取り組み、やっとの思いで志望する高校や中学卒業後の目標を決めつつあります。目標が明確になった今、1学期よりも授業に向かう姿勢が良くなり、自分で決めた道を信じて本格的に受験勉強に励む生徒が増えてきました。

さて、いよいよ中学3年生の冬休みです。今までの冬休みとは違い、自分のことを一層真剣に考え、自分磨きに勤しむことになると思います。それでも、家族の一員であることを決して忘れてはいけません。できることを、できる範囲でしっかりとやり遂げましょう。そして、受験は団体戦です。辛い時や不安な時こそ、学校生活で絆を深めた仲間のことを思い出しながら、みんなと一緒に乗り越えていきましょう。冬休みを心身ともに充実させ、自信に満ち溢れたみなさんの顔を3学期見られることを楽しみにしています。



E組の様子から（番場智幸）



今年度から在籍する生徒が大半を占めるE組。初めて過ごす喜多見中での生活は見通しが立て辛い面もあったかと思います。その中で、長い2学期を乗り越えたこと、本当に素晴らしいです。朝寒くて起きられないよ…と言いながら頑張って登校していること、週に何回と決めて頑張って登校していること、授業でもメリハリをつけていきながら自分で決めた目標に向かって取り組もうとしていた姿がありました。色々なことに”挑戦する姿”がとても印象的な2学期でした。

先日のモーニングキャリアでは「2学期を振り返って・冬休みの目標」という題のもと、それぞれが自分の行動を振り返り、「良かったこと」と「改善していくこと」をそれぞれ挙げました。3学期は次の学年の準備期間と言われます。今回のキャリアパスポートで挙げた、「改善していくこと」をしっかりと意識し、2学期に見られた“挑戦する姿”を新年でも継続する姿を期待します。今年もE組の教育にご理解とご協力いただきまして誠にありがとうございます。来年以降も一人ひとりが自分の目標に向かって歩んでいけるよう支援を続けていきます。引き続きご協力何卒よろしくお願ひいたします。

今号はE組の桐山 侑紀 先生（本校1年目、3年E組担任、バドミントン部顧問）の授業紹介です。いつも優しい眼差しで生徒に寄り添う先生はE組のお姉さん的な存在。大学では陶芸を専門に研究したことですが、特技には韓国語もあるとか。韓流/K-pop好きな人は声をかけてみてください！

美術の授業では、生徒の感性を育むことを特に大切にしています。授業をしていると、生徒から「どうしたら絵が上手になりますか?」「上手く作れないから自信ないです」といった声がよくあがります。“上手い絵”“上手く作る”とはなんでしょうか。本物そっくりに描いて作ることでどうか?模写の授業以外では本物そっくりは求めていません。そんなとき私は「ピカソの作品はどう思う?」と問い合わせします。ピカソの絵は角ばった形や独特な表現方法で描かれているものが多くあり、リアルな表現ではないと感じています。しかし、そんなピカソの作品は評価されていて、とても有名な画家のひとりです。私もピカソの絵から学ぶものはたくさんあります。ただ、生徒たちの言う“上手い絵”ではない気がしています。つまり上手な絵や作品を作るのではなく、一人ひとりの感じたものや考えていることを表現すること。これが素敵な作品を生み出していくことにつながると私は考えています。上手い、下手ではなく、私は「良い絵、良い作品」と表現しています。授業で作ったり描いたりする作品には生徒たち自身が表現されています。これからも自分だけの色を大切に、表現することを楽しんでいってほしいと思っています。



今号の「わたしのきたみち」は 小林 ●● 先輩（R.5卒）からのメッセージです。『●●さんはクリアできそうなハードルを自分で設定し、それを一つひとつ越えながらその高さをどんどん上げて成長していたなー』とは、岡部先生の談。高校でもその充実ぶりがよく伝わるレポートです！

皆さんこんにちは！昨年度喜多見中学校を卒業し、現在都立新宿高校に通う小林●●です。中学生時代は学級委員を務めながらもバスケットボール部に所属し、毎日忙しかったものの充実した日々を過ごしていました。今回は私の高校での生活を紹介しながら、皆さんに今後大切にしてほしいことについてお話ししようと思います。

新宿高校は勉強面も生活面も頑張ることができる、まさに文武両道を目指せる高校です。とてもユニークな先生方が展開する授業や取り組みは魅力的で、その中でも面白かったと思う取り組みは企業探究です。実際に企業に訪れて社員の方々にプレゼンを行う活動は、将来につながる様々な経験をすることができました。私は今回、新宿駅前広場にはどのようなイベントや滞在空間が必要なのかという課題について考えました。考えていく過程や発表時には喜多見中で学んできたこと、そして学級委員として常に人前に立っていた経験を生かし、欠点の見つからない素晴らしいプレゼンだと褒めていただくことが出来ました。一方で私は三年間続けたバスケットボールとは離れダンス部に所属しており、校内公演や大会に向けてお客様に心から楽しんでもらえるよう努力しています。公演を成功させたときはもちろん、日々の練習・帰るときのおしゃべりや寄り道は、充実した高校生活を送っていると自信を持って言うことのできる大切な思い出となっています。特に高校が都会のど真ん中にあるため、友達と放課後にカラオケに行ったり高頻度で買い物をしたりしているときは「高校超楽しい！！」と思える瞬間です！（笑）



これまで私の高校生活についてお話ししてきましたが、この話を通して私が皆さんに伝えたいことは、「今」しか得ることのできないものがたくさんあるということです。皆さんは中学校ではスマホも使えないし制限がたくさんあって嫌だと思っているのではないでしょうか。しかし、自由な高校生活で私が感じたことは、必ず自由な時が来るのであれば制限のある中学校生活でどのように工夫しながら楽しく過ごせるかを考えたという経験が、いつか自分の人生に何か良いものをもたらしてくれるということです。これからも「今」という時間を作り、最後まで駆け抜けてください！特に三年生は受験が近づいていると思います。自分を信じて最後まで駆け抜けてください。応援しています！

落ち葉はきボランティア（生徒会朝礼での報告から） 生徒会本部役員：高橋●●さん（2A）



2日間でおよそ80人の生徒の参加がありました。協力してくださった皆さん、ありがとうございました。2日間の清掃で多くの落ち葉が集まり綺麗になりました。私たち生徒会は落ち葉掃きボランティアの目的として、「地域社会の一員として社会に参画、貢献する力を育てる」、「生徒の自主的な活動を促す」というのをもとに、生徒の主体性を考える企画を実施しています。今回の落ち葉掃きボランティアは生徒会が予想しているよりも大きく上回る参加人数でした。自主性や主体性が問われる企画でたくさんの方が参加してくれたことは生徒会としてもとても嬉しいです。今回参加してくれた人や今回参加できなかった人も、また機会があればぜひ参加してください！

喜多見中名物の大蔵大根を収穫しました！～郷土の誇り、地域に感謝～

12日(木)の⑥校時、伝統の「大蔵大根収穫祭」を行いました。— 9月にまいた小さな3粒の種が大きく育ちました。腰を入れて力いっぱい大地から引き抜けば、立派な白い姿が地中から姿を見せます。毎年、この瞬間の子どもたちの弾ける笑顔は印象的。手塩にかけて育てた大きな大蔵大根を誇らしげに胸に抱える姿はどれもベストショット！（職員室間にたくさんの写真を掲示しましたので、ぜひご覧ください）大蔵大根は地域の誇り。土づくりの第一歩から、間引き、寒冷紗敷き、水やり、そして収穫と畠仕舞いまで…。長きにわたり、いつも丁寧にご指導いただいた地域の永井様、そして、池田様親子に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



私がやってみて大変だと思ったことは2つあります。まず1つ目は、畠作りの時に行なったレイキがけです。レイキとは、クワで畠を作った後に、その上を平らにならす道具です。レイキをかける時に、畠の厚さにムラができる、とても大変でした。でも、農家の方に教えていただき、平らにならすことができました。その時の農家の方の手つきが素早く、すごく慣れているなと感じました。

そして2つ目は、大根の収穫の時に、大根の先が地下深くまで伸びていて、抜くのが大変だったことです。私が抜いた大根は短かったけれど、すごく力を入れないと抜けませんでした。

育ててみて私は、新鮮な大根は葉がチクチクすることに驚きました。普通に売っている大根は、葉が切り取られているので、大根の葉のことをよく知りませんでした。今回の大根の葉は、みずみずしくて、とても美味しかったです。

今回私たちの農業体験を手伝ってくださった方々に感謝しています。（大根リーダー：1B 中瀬さん）

冬季休業中の緊急連絡等について

12月28日(土)から1月5日(日)は週休日および学校休業日です。この間、学校には日直の教員は勤務していません。また、警備員は常駐していますが、緊急連絡等は6日(月)以降にご連絡願います。なお、生命にかかわる事故や事件(不審者遭遇等を含む)の際は、迷わず110番通報してください。ご協力をお願いします。

職員室直通ダイヤル：03-3417-4971(平日：8時15分から16時45分まで)

警備室直通ダイヤル：03-3417-4972(12月28日から1月5日以外の緊急時)

ご協力、ありがとうございました

学校関係者評価にご協力いただき、ありがとうございました。特に記述欄には、ご要望やご意見など多くの貴重な声を届けていただき感謝します。ご質問等への回答は、精査終了次第、本紙や保護者会等を通じて順次回答する予定です。なお、疑問や不安ごと等あれば、遠慮なくいつでもご相談ください。



1月の予定から

- 1月 8日(水) 始業式 ※種々の催事をご参観ください！
11日(土) 道徳授業地区公開講座(9時50分より各学級授業)
※10時50分より協議会(被服室にて実施)
16日(木) 1年生 Tokyo Global Gateway へ(1年生のみお弁当)
17日(金) 第3回英語検定(1、2年生の49名が挑戦します！)
23日(木) 1年生百人一首大会(14時40分開始 体育館)
24日(金) 2年生鎌倉校外学習
26日(日) 都立高校推薦入試(～27日)
27日(月) 区教職員研修につき午前授業(給食後に下校)
30日(木) 2年生百人一首大会(14時40分開始 体育館)
31日(金) 都立高校推薦入試合格発表
学習成果展覧会準備につき⑥カット

新年1月8日(水)始業式 当日について

- 【登校】通常登校(8時25分までに登校)標準服登校です！
【持ち物】通知表、上履き、宿題等 ※学年により等を参照
【下校】12時10分頃の予定です。(給食なし)

1月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

【担当SC】□：江部 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372